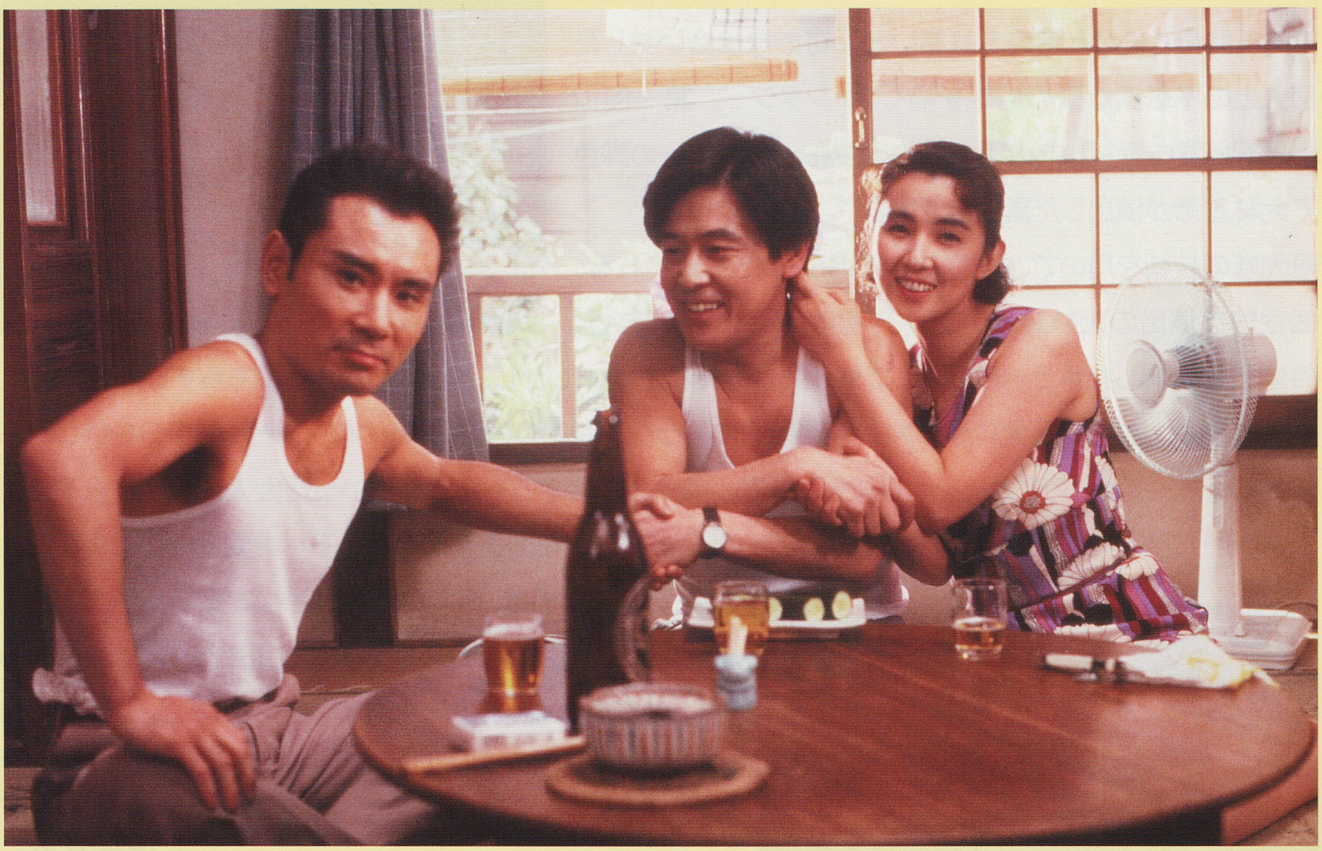
とよキネマ
映画との出会い
Vol.62

異人たちとの夏



©1988 松竹株式会社

幼い頃に失ったはずの両親と再会し、始まる不思議な夏のひととき―

監督 大林宣彦　脚本 市川森一　製作 杉崎重美　原作 山田太一『異人たちとの夏』
音楽 篠崎正嗣　撮影 阪本善尚　編集 太田和夫
出演 風間杜夫、片岡鶴太郎、秋吉久美子、名取裕子、永島敏行　ほか
1988 年 /108 分 / 日本 / The Disincarnates/ 松竹

2024.6/21 金

11:00/14:30/19:00 (本編上映時間 108分)
※開場は各上映開始の 15 分前。

豊中市立文化芸術センター中ホール
(アクア文化ホール)

チケット【全席自由】
一般　￥1,000（club CaT ￥900）
ペア　￥1,800（club CaT ￥1,600）
※障害者割引あり。障害者とその介助者は 2 割引き。
※障害者割引の取扱は、文化芸術センターチケットオフィス電話・窓口のみ。
※車いす席をご希望の方は、文化芸術センターチケットオフィスにお問合せ下さい。

チケット発売日

club CaT 先行
2024 年 4 月 11 日 (木) ～ 4 月 17 日 (水)
※WEB・電話のみ受付。初日は 10:00 より開始。
※先行期間中の窓口での直接販売はございません。

一般発売日
2024 年 4 月 18 日 (木)
※初日は 10:00 より窓口・WEB にて受付開始。電話は同日 15:00 から。

主催：豊中市市民ホール等指定管理者

日常にそっと忍び込んでくる孤独と幻想。
大林監督による独特の映像が、観客を不思議な世界へと導く――。



妻子と別れた人気シナリオライターが体験した、異人（幽霊）である父母とのひと時のふれあいと、奇妙な出会いをした恋人との不思議な愛の幻想を描くファンタジー。第一回山本周五郎賞を受賞した山田太一の小説を、市川森一の脚色で大林宣彦が演出した異色作です。

最先端の技術を用いて、映像史を切り拓いたとも言われる、個性的な演出の大林宣彦監督。当初は不可思議な恋人との体験を強調したホラー映画として依頼されたそうです。しかし、最終的に映画のあらすじは原作に忠実な内容に。観客の印象に残るのも、幼い頃に失った両親との再会のシーンでしょう。「自分をいじめることはねぇ。てめぇでてめぇを大事にしなくて、誰が大事にするもんか」といった大人になった息子に対してのセリフや、お互い別れがたく思いながらも、自らの命を削る事になる息子への愛情がにじみ出るような別れの場面は、昭和の風景とともに胸に迫ってきます。



©1988 松竹株式会社

原作は 2023 年 11 月に亡くなった山田太一による長編小説。映画も小説も 35 年以上前の作品ですが、今年 4 月には舞台を現代イギリスに移したリメイク映画作品も公開されました。人の心に残り続ける名作をこの機会にぜひ、とよキネマでご覧ください。

冒頭4分間公開中

あらすじ

原田英雄（風間杜夫）は 40 歳のシナリオ・ライター。妻子と別れ一人暮らしをしていたある日、故郷の浅草に出かけ、死んだはずの両親に出会う。二人は彼が 12 歳の当時の姿のまま浅草に住んでいるという。懐かしさに浅草の両親の家へ通う一方で、同じマンションに住む桂（名取裕子）という女性と、愛し合うように。彼女は死んだはずの両親には会うなと言う。異人（幽霊）に近づくと、それだけ自分の体は衰弱し、死に近づいてしまうのである。原田は両親と別れる決心をし、親子水いらず別れの宴を開いた。暖かい両親の愛情に接し、原田が涙ながらに別れを告げると、両親の姿は消えていった。しかし、なぜか原田の衰弱は止まらなかった―。

【チケット購入・公演のお問合せ】
豊中市立文化芸術センターチケットオフィス 06-6864-5000
（10:00-19:00 月曜休館）
オンラインチケット　https://www.toyonaka-hall.jp/ticket/
【プレイガイド】
ローソンチケット（Lコード 51319）

お知らせ｜とよキネマポイントカード作りませんか？
6 回見ると 1 本ご招待！　※各上映会時に会場ホワイエにて受付します。



豊中市立文化芸術センター
〒561-0802 豊中市曽根東町3-7-2
阪急宝塚線「曽根」駅下車
東へ約300m(徒歩約5分)
※駐車スペースは限られております。
ご来館の際には、電車・バスなどの
公共交通機関をご利用ください。